

## 用語解説

No.	用語	説明
1	入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)	各大学・学部などが入学志願者や社会に対し、その教育理念や特色などを踏まえ、教育活動の特徴や求める学生像、入学者の選抜基準などの方針をまとめたもの。
2	卒業認定・学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)	学位授与の方針。卒業 (修了) までにどのような能力の修得を目指すのか、学生が達成すべき具体的な学修成果を設定したもの。
3	教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)	教育課程の編成方針。各課程教育において、ディプロマ・ポリシーで定めた達成目標の実質化・体系化を図るための方策・手段。
4	履修モデル	計画的に授業を履修する道筋を示したもの。
5	コースワーク	学修課題を複数の科目等を通して体系的に履修する制度。大学院教育の組織的強化、課程制大学院教育の趣旨を実現する手段として、講義や実験などで実践的な専門知識を養うプログラムとされる。
6	リサーチワーク	大学院研究科課程において、学生が自身の定めたテーマについて、研究指導教授のアドバイスを受けながら研究論文を執筆する学修の方法。主に博士課程でこの方法が採られる。
7	初年次教育	高等学校から大学への円滑な移行を図り、大学での学問的・社会的な諸経験を成功させるべく、主として大学新生を対象に作られた総合的教育プログラムのこと。
8	いわて創造教育プログラム	岩手県立大学における地域志向教育の充実を図るため、「地域」に関連する科目群を体系化した教育プログラム。主専攻である学士課程 (看護学・社会福祉学・ソフトウェア情報学・総合政策学) とは別に、これらの専門領域を活かした学部横断型の副専攻として位置付けている。
9	補習教育	授業内容の確実な理解を図るために、基礎となる学力を身に付けることを目的とした教育のこと。
10	補充教育	岩手県立大学において、授業の理解にとどまらず、学生の主体的な学修を支援するため、相談や学習環境等の機会を提供する教育のこと。
11	教育アシスタント	学生への指導、助言などの教育補助業務や演習、実験など授業補助業務に従事する学生 (大学院生及び学部生) のこと。
12	FD (ファカルティ・ディベロップメント)	教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称。具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催等を挙げることができる。

No.	用語	説明
13	ラーニング・コモンズ	図書館や大学などの施設で自学学修をする利用者の利用目的や学習方法にあわせ、図書館資料や ICT（情報通信技術）を柔軟に活用し、効率的に学習を進めるための総合的な学習環境のこと。
14	リテラシー	新しい問題や経験のない問題に対して、知識を活用して問題を解決する能力のこと。習得した知識を現実の問題に活用することで育てられるとされている。
15	コンピテンシー	知識や技能（スキル）そのものではなく、それらを駆使して業務上の課題を遂行・解決する能力に着目した概念。
16	研究シーズ	新しい応用化や実用化の素となるような科学的知識・技術のこと。
17	リカレント教育	大学などの高等教育機関等が、主に学校教育を終えた後の社会人向けに、職業上の新たな知識・技術や日常生活における教養の修得等を目的として行う教育のこと。
18	ふるさといわて創造プロジェクト	岩手県立大学と岩手大学が連携し、岩手県内の大学・短期大学・高等専門学校や地方公共団体、企業等と協力しながら、地域が求める人材の輩出と地域産業の活性化・地方への人口集積等の推進を目的としたプロジェクトのこと。「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」として実施。
19	SD（スタッフ・ディベロップメント）	事務職員や技術職員など職員を対象とした、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組のこと。「スタッフ」に教員を含み、FDを包含する意味としてSDを用いる場合とFDと区別し、職員の職能開発の活動に限定してSDの語を用いる場合がある。
20	IR（Institutional Research）	戦略的な大学運営を展開するため、教育研究や大学運営等に関する情報を一元的に収集・蓄積・分析し、改善施策の立案・実行・検証を行う活動のこと。